

平成30年第1回定例会（2月議会） 産業観光委員会・分科会 提出資料

平成30年 2月23日
観光文化スポーツ部

【当初予算関連】

観光戦略課	観光文化スポーツ部 平成30年度当初予算案の概要	1
	地域観光施策推進事業について	3
	あきたびじょんブランド化推進事業について	5
	観光施設魅力向上事業について	7
	選ばれる観光拠点づくり総合対策事業について	8
観光振興課	秋田の観光宣伝力強化事業について	10
	あきた発酵ツーリズム推進事業について	12
	平成30年度秋田県のインバウンド戦略について	13
	訪日外国人受入環境整備事業について	15
	国際航空路線拡充促進事業について	17
	重点市場におけるFIT誘客プロモーション事業 について	18
	デジタルプロモーション推進事業について	20
	FITに対応したキラーコンテンツ整備事業について	22
	広域観光連携誘客促進事業について	24

秋田うまいもの販売課	アンテナショップ運営事業について	-----	26
	県産品販路拡大対策事業について	-----	27
	クールアキタ食の輸出拡大支援事業について	-----	29
	秋田米の加工利用促進事業について	-----	31
交 通 政 策 課	広域交通ネットワーク維持・誘客促進事業について	-----	32
	奥羽・羽越新幹線整備促進事業について	-----	34
	バス関連予算について	-----	36
	秋田内陸縦貫鉄道関連予算について	-----	39
	由利高原鉄道関連予算について	-----	41
	秋田犬の里魅カアップ促進事業について	-----	43
文 化 振 興 課	文化による地域の元気創出事業について	-----	44
	県・市連携文化施設整備事業について	-----	46
	新時代の地域密着型芸術文化活動促進事業について	-----	48
ス ポ ー ツ 振 興 課	スポーツ王国創成事業について	-----	50
	県有体育施設整備・改修事業について	-----	52
	県有体育施設大規模改修事業スケート場冷凍機改修事業 に係る債務負担行為の設定について	---	54
	2020ホストタウン推進事業について	-----	55
	バドミントンマスターズ大会開催支援事業について	-----	56
	新スタジアム整備構想策定事業負担金について	-----	57



観光文化スポーツ部 平成30年度当初予算案の概要

観光文化スポーツ部

～ 秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略の推進 ～

「また来たい」 受入態勢づくり

重点課題

- ① 高質な観光集客拠点の構築
- ② 魅力あるコンテンツの整備などによる観光客の満足度向上

【観光拠点の整備促進】

◆ 魅力的な宿泊施設や新たな体験施設の整備

- ・地域の誘客拠点となる宿泊施設や多彩な「発酵ツーリズム」を受け入れる施設の整備を支援
- ・秋田犬とふれあえる場を拡大するため、観光施設での常設的な展示等を実施



【インバウンド対策の充実】

◆ 外国人旅行者に優しい受入環境の整備

- ・観光事業者向けの多言語指さし会話シートの作成や、観光ガイド向けの研修等を実施
- ・携帯端末用観光情報アプリの機能を拡充



◆ 国際チャーター便の誘致強化

- ・将来の国際定期便就航等を視野に入れ、台湾をはじめとした様々な国・地域からのチャーター便運航拡大を目指してトップセールス等を実施



「行ってみたい」 秋田の発信

重点課題

- ① 食、文化、スポーツ等が連携した総合的な誘客力の強化
- ② インバウンド誘客20万人を実現するための取組の推進
- ③ 東京オリンピック・パラリンピックの機会の有効活用

【国内誘客の促進】

◆ 首都圏等での集中プロモーション

- ・JR東日本の重点販売地域指定（9～11月）に伴う大型観光キャンペーンを実施し、「秋田犬の里」を強力に発信



【インバウンド誘客の強化】

◆ 個人旅行者向けコンテンツの整備

- ・秋田犬や秋田美人、里山サイクリング、発酵食文化などをテーマとしたコンテンツの磨き上げを促進



◆ 誘客プロモーションの展開

- ・重点市場（台湾、韓国、タイ、中国・香港）でのFIT誘客を強化しながら、デジタルマーケティングを実施
- ・豪州などのスキーマー・スノーボード市場を開拓



【文化による交流人口拡大】

◆ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組

- ・「beyond2020プログラム」を推進し本県文化を国内外へ発信
- ・東京都と連携した「東京キャラバン」を本県で開催



【スポーツによる交流人口拡大】

◆ 海外ナショナルチームの事前合宿誘致等

- ・市町村とともに誘致活動を推進し、スポーツ交流などを支援



◆ 新たな国際大会の開催

- ・バドミントンの大規模大会である「ジャパンマスターズ2018（仮称）」を本県で7月に開催



人・もの交流を支える取組

重点課題

- ① 本県の食の柱となるアイテムを育成し、食がリードする地域活性化を実現
- ② 今後の社会の変化等を見据えた交通ネットワークの構築
- ③ 本県文化の発展・継承と、中核拠点となる文化施設の整備
- ④ アスリートの発掘・育成・強化と、本県トップスポーツへの支援

【県産食品のブランド化と販路拡大】

◆ リーディング品目の強化と育成

- ・酒造業界とともに、高品質な日本酒の生産拡大に向けた取組を推進
- ・米加工品を重点分野として育成するための態勢構築やマーケティングを実施

◆ 国内外への販路の拡大

- ・首都圏や関西・九州の販路拡大を支援
- ・台湾及びパリを重点市場に、日本酒などの輸出を促進



【交通網の利便性向上と地域交通の確保】

◆ 広域交通ネットワークの構築

- ・定期航空路線やフェリー航路の維持・拡充や利用促進に向けた取組を推進
- ・奥羽・羽越新幹線の整備促進に向けた気運の醸成や整備手法等に係る調査研究を実施

◆ 生活バス路線等の維持・再編支援

- ・住民生活に欠かせないバス路線等の運行を確保
- ・路線再編モデルの構築や住民主体の生活交通確保に向けた取組を支援



【地域文化の振興と中核拠点の整備】

◆ 地域密着型の芸術文化活動の促進

- ・県民による文化芸術活動の発表機会を充実し、優れた作品や活動を顕彰
- ・県民会館閉館中の芸術文化活動を促進するため、地域密着型の取組を実施

◆ 県・市連携文化施設の整備推進

- ・平成33年度の供用に向け、実施設計や運営管理計画の策定などを実施



【「スポーツ立県あきた」の推進】

◆ 「スポーツ王国」の創成

- ・各競技団体の選手強化対策を支援するとともに、ジュニア期からの一貫指導体制の確立等を推進



◆ 新たなスタジアムの整備構想の検討

- ・ホームタウンである県と4市及び秋田商工会議所の6者で新たな協議の場を設置し、新スタジアム整備に向けた調査・研究等を実施

地域観光施策推進事業について

観光戦略課

1 目 的

平成30年度からスタートする「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」における重点戦略を推進するため、地域振興局において、地域に密着した観光・物産施策に取り組む。

2 概 要

各振興局において、魅力ある観光地づくりの促進、県内流動や近隣県等との交流の活性化、秋田県市町村未来づくり協働プログラムの推進等に関する事業を重点的に実施する。主な取組内容は、以下のとおりとなっている。

(単位：千円)

	項 目	主 な 取 組	予 算 額
鹿 角	青森県・岩手県との連携による誘客活動の展開	○十和田八幡平周遊スタンプラリー ○十和田湖周辺ドライブマップの作成 等	3, 0 6 3
	教育旅行の誘致展開	○北海道を中心とした教育旅行の誘致	2 8 7
	外国人旅行客に対する受入態勢の着実な整備促進	○観光業・飲食店従業員等対象の語学研修 ○留学生によるモニターツアー 等	4 5 8
	事業者との協働で行う鹿角の「食」の知名度向上	○小坂町原産山ブドウによるワインセミナー ○函館港フェリーターミナルでの物産展 等	7 3 5
鹿角地域振興局 計			4, 5 4 3
北 秋 田	森吉山を中心とした地域への観光誘客	○登山専門誌を活用した観光情報の発信 ○内陸線沿線での田んぼアートづくり 等	2, 2 8 7
	大館・北秋田地域の観光情報の発信、及び近隣県・首都圏への売り込み	○観光連盟等と連携した観光PR ○北鹿地域“ゆぎっこ巡り”スタンプラリー ○グルメ秋祭りの開催 等	1, 5 4 6
北秋田地域振興局 計			3, 8 3 3
山 本	白神山地の世界自然遺産登録25周年を契機とした広域による誘客	○白神山地出前講座「ブナの学校」の開催・あきた白神地域の観光パンフレットの作成 ○25周年記念ツアー 等	2, 5 7 4
	白神山地を核とした着地型観光の推進と受入態勢強化	○登山・トレッキング事業者との連携 ○サイクリング誘客の基盤づくり 等	1, 7 6 3
山本地域振興局 計			4, 3 3 7
秋 田	男鹿半島周辺地域の周遊観光の促進	○男鹿半島・大潟ジオパークツアー ○周遊観光スタンプラリー 等	3, 2 5 1
秋田地域振興局 計			3, 2 5 1

(単位：千円)

	項目	主な取組	予算額
由利	未来づくり協働プログラムのフォローアップ	○由利鉄と連携した周遊ツアー ○「花立エリア」イベントキャンペーン 等	1, 815
	環鳥海地域の広域観光の推進	○山形県及び首都圏での誘客キャンペーン ○環鳥海周遊スタンプラリー 等	1, 424
	新たな旅行需要の創出	○民謡をテーマとした新たな旅行需要の検討 ○酒フェスタの開催 等	482
由利地域振興局 計			3, 721
仙北	仙北地域への誘客・周遊の促進	○県南小正月行事スタンプラリー ○圏域版ドライブマップの作成 等	1, 420
	仙北地域の観光・物産の売り込み	○県南3振興局等による県内外での物産展 ○仙北地域チャレンジマルシェ 等	645
仙北地域振興局 計			2, 065
平鹿	機能合体と広域連携を活用した特産品PR及び「いぶりがっこ」の販売促進	○県南3振興局による仙台での物産展 ○「横手うまいものフェア首都圏」の開催 ○いぶりがっこの販促活動 等	1, 962
	機能合体による広域観光の推進	○JR重販期間に合わせた観光PR ○おもてなし講習会 等	1, 436
平鹿地域振興局 計			3, 398
雄勝	市町村との協働により広域観光を推進	○広域観光物産キャンペーン ○観光資源の発掘や磨き上げ 等	2, 300
	県際・県南地域振興局連携等による売り込み強化	○東北のへそ3県交流観光まつり ○食をテーマとしたスタンプラリー 等	1, 298
雄勝地域振興局 計			3, 598
地域振興局 合計			28, 746

3 予算額

28, 746千円

内 訳	・ 報償費	484千円
	・ 旅 費	2, 333千円
	・ 需用費	3, 057千円
	・ 役務費	1, 260千円
	・ 委託料	5, 370千円
	・ 使用料及び賃借料	1, 131千円
	・ 負担金補助及び交付金	15, 111千円

※ 地域振興局予算のうち、観光文化スポーツ部の施策にかかる事業費を観光戦略課に計上し、その他の施策にかかる事業費（42, 254千円）は、あきた未来戦略課に計上されている。

あきたびじょんブランド化推進事業について

観光戦略課

1 目的

「あきたびじょん」で表現した秋田の統一したイメージ（高質な田舎）に基づき、様々な媒体により秋田の魅力をアピールし、秋田ファンの拡大を図るとともに、新たな地域コンテンツを活用した今までにない秋田の楽しみ方などを提案することにより、新しい人の動きや流れを創出する。

2 概要

(1) 各種PRの総合プロデュース 8,520千円

統一感のあるイメージで秋田の魅力を発信するため、各種PR事業に対し、専門家の指導・助言等を得るとともに、各種媒体などに合わせてインパクトあるデザインを制作する。

(2) ソーシャルメディアによる情報の交流 695千円

魅力的なクオリティの高い画像素材を収集し、Facebook、Instagram等のソーシャルメディアを活用して、ロコミ的な秋田の旬の情報や魅力を発信し、情報交流を拡大する。

(3) 県ゆかりの人とのネットワークの活用 20,652千円

県が委嘱している「あきた美の国大使」など秋田ゆかりの人材を活用して、秋田の良さを再認識できるような情報番組や映像等を制作するほか、大使等に県のイベントなどに参加してもらい秋田の魅力を発信する。また、「あきた音楽大使」の高橋優が県内を巡って秋田を紹介するガイドブックを制作し県内周遊の促進を図る。

(4) WEBマガジンの制作・運用 27,062千円

WEBマガジンを制作し、足元にある優れたコンテンツの魅力や楽しみ方を発信するとともに、読者交流会を開催し、読者ファン同士の情報交流や二次的な情報発信を誘発することにより、新しい人の流れを創出する。

3 予算額 56,929千円

(1) 各種PRの総合プロデュース 8,520千円

内 訳	・ 報償費	100千円
	・ 旅 費	2,546千円
	・ 需用費	324千円
	・ 委託料	4,500千円
	・ 使用料及び賃借料	1,050千円

(2) ソーシャルメディアによる情報の交流		695千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費 150千円 ・需用費 50千円 ・役務費 495千円 	
(3) 県ゆかりの人とのネットワークの活用		20,652千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費 248千円 ・旅 費 1,992千円 ・役務費 612千円 ・委託料 17,800千円 	
(4) WEBマガジンの制作・運用		27,062千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 188千円 ・委託料 26,874千円 	

観光施設魅力向上事業について

観光戦略課

1 目的

県有観光施設において、利用者の安全・安心の確保と満足度の向上等を図るため、緊急性の高い改修等を行うほか、秋田ふるさと村の集客力向上を図るため、老朽化した設備を更新する。

2 概要

(1) 観光施設等緊急改修事業

205,129千円

(単位：千円)

施設名	工事内容	予算額
男鹿水族館	・ブラインチラー設備更新	30,871
	・防潮扉更新(取水ポンプ室入口)	15,094
田沢湖スキー場	・銀嶺クワッドリフト握索装置改修	43,200
	・かもしかクワッドリフト索受装置改修	5,184
秋田ふるさと村	・直流電源装置等更新	11,950
	・ドーム劇場の屋上防水施設改修	2,056
十和田ホテル	・冷却塔更新	41,338
	・別館客室出窓のストッパー改修	3,701
	・別館客室出窓のクラック修繕	2,959
サンルーラル大潟	・カードロックシステム改修	7,903
	・西側外壁雨漏改修	6,062
フォレストア鳥海	・直流電源装置更新	20,546
秋の宮山荘	・電話構内交換機改修	6,850
	・温泉系統ポンプ及び浄化槽ブロワー更新	7,415

(2) 秋田ふるさと村集客力向上事業【新規】

33,000千円

導入から20年以上が経過し、故障等の恐れがある自動車型連結バス「チューチュートレイン」を、新型車両に更新する。

・委託予定先：(株)秋田ふるさと村

3 予算額

238,129千円

(1) 観光施設等緊急改修事業

205,129千円

内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料 61,832千円 ・工事請負費 143,297千円
-----	---

(2) 秋田ふるさと村集客力向上事業

33,000千円

(委託料)

選ばれる観光拠点づくり総合対策事業について【新規】

観光戦略課

1 目的

本県への訪問意欲を喚起する際立ったコンテンツの造成や、旅の満足度を高める高質な受入環境の整備を進めることにより、観光客に「選ばれる」観光拠点を創出・形成し、国内外からの誘客拡大を図る。

2 概要

(1) 際立つコンテンツ創出支援事業〔観光振興課、秋田うまいもの販売課〕12,000千円

秋田犬や里山サイクリングなどによる誘客対策や、本県の発酵食文化を誘客に活用する「あきた発酵ツーリズム」等と連動した、本県の魅力が際立つ多彩なコンテンツの造成を促すため、民間事業者に対し、必要な施設の整備等を支援する。

・補助対象者：県内において、以下の取組を行う民間事業者

ア 秋田犬のふれあい展示施設の整備

イ 「あきたで美人に！」をテーマとする取組を実施する施設の整備

ウ スポーツを核とする体験型観光に供する施設の整備

エ 日本酒や味噌等の発酵食品の製造施設における、観光客を対象とした見学や製造体験の受け入れなどを目的とする改修等

オ その他、インバウンド向けの体験型観光に供する施設の整備

・補助率：補助対象事業費の1/2以内

・限度額等：3,000千円×2件、1,000千円×4件、500千円×4件

(2) 高質な受入環境整備促進事業〔観光戦略課、秋田うまいもの販売課〕85,600千円

観光客に「また来たい」「皆に伝えたい」と思わせる高質な受入環境の整備を促進するため、金融機関の目利きを生かし市町村と連携しながら、民間事業者が行う新たな誘客プロジェクトの立ち上げを支援する。

① 地域観光集客拠点構築支援事業（地域経済循環創造事業交付金）

・補助対象者：県内の宿泊施設、観光施設及び「あきた発酵ツーリズム」の推進拠点となる施設において、地域の観光振興施策と連動し、国内外から観光客を呼び込む大規模なプロジェクトの立ち上げを行う民間事業者

・補助条件：総務省の地域経済循環創造事業交付金の要件を満たし、同交付金に採択されること

・補助率：補助対象事業費の1/2以内

・限度額等：40,000千円×1件、25,000千円×1件

② 民間観光宿泊施設魅力向上支援事業

- ・補助対象者：県内の宿泊施設において、新たな顧客の獲得に向けて、旅行者の多様なニーズや旅行形態の変化に対応した魅力向上に取り組む民間事業者
- ・補助率：補助対象事業費の1／2以内
- ・限度額等：5,000千円×4件

3 予算額 97,600千円

(1) 際立つコンテンツ創出支援事業 12,000千円
(負担金補助及び交付金)

(2) 高質な受入環境整備促進事業 85,600千円

内 訳	・ 報償費	180千円
	・ 旅 費	354千円
	・ 需用費	22千円
	・ 役務費	11千円
	・ 使用料及び賃借料	33千円
	・ 負担金補助及び交付金	85,000千円

秋田の観光宣伝力強化事業について

観光振興課

1 目的

首都圏や隣県等からの更なる誘客を図るため「秋田犬」をキラーコンテンツに年間を通じた観光キャンペーンを展開するとともに、地域や民間の取組と連携し、テーマやターゲット等を絞り込んだ誘客プロモーションを推進する。

2 概要

(1) 「秋田犬の里」集中プロモーション事業（地方創生推進交付金）85,016千円

① JR東日本重販活用PR強化事業【新規】

平成30年9月から11月まで実施するJR東日本の重点販売地域指定に伴う大型観光キャンペーン用のガイドブックやポスターの制作及びオープニングイベントの開催

ア ガイドブックの制作

- ・発行部数：30万部
- ・発行時期：平成30年7月

イ ポスターの制作

- ・発行枚数：B0版 1,500枚 B1版 3,500枚
- ・発行時期：平成30年7月

ウ オープニングイベントの開催

- ・実施場所：首都圏主要駅周辺等
- ・実施時期：平成30年9月

【参考】JR東日本の重点販売地域指定

JR東日本と地元自治体等が共同で実施する観光キャンペーン。JR東日本の広告媒体の活用や旅行商品造成など、集中的な観光プロモーションを実施する。

本県では、平成29年4月～6月以来の実施となる。

② 交通広告等活用プロモーション事業

JR等の主要駅において広告宣伝等を実施する。

- ・実施時期：平成30年9月
- ・テーマ：上記大型観光キャンペーンPR等

③ 大規模イベント等活用観光PR事業

ア 「ツーリズムEXPOジャパン」への出展

- ・実施時期：平成30年9月
- ・実施場所：東京ビッグサイト

イ 「ふるさと祭り東京」への出展

- ・実施時期：平成31年1月
- ・実施場所：東京ドーム

ウ 「あきた産直市」における観光PR

- ・実施時期：平成30年5月～12月
- ・実施場所：JR上野駅、大宮駅

④ 隣県からの誘客促進強化事業

ショッピングモール等で観光PRイベントを実施する。

- ・実施時期：平成30年9月～平成31年2月
- ・実施場所：弘前市、盛岡市、仙台市、山形県庄内地方

⑤ 秋田犬ふれあい交流事業【新規】

県内における観光客と秋田犬とのふれあい交流の拡大に向けた観光施設等での常設的な展示や、主要ターミナル（秋田駅、秋田港、秋田空港等）でのお出迎え等の臨時的な展示を実施する。

⑥ 秋田犬ふれあい展示促進事業【新規】

「秋田犬ふれあい展示促進ネットワーク（仮称）」による事業者育成等を図る。

- ・構成：関係団体（秋田犬保存会、秋田犬ツーリズム等）、新規参入を検討する事業者、関係各課（観光振興課、生活衛生課）等
- ・実施内容：秋田犬のふれあい展示に関する情報共有、新規参入を検討する事業者への助言、秋田犬に関する県民理解の醸成等

(2) 多様な民間事業者とタイアップした誘客推進事業 25,000千円

官民が一体となった「秋田の観光創生推進会議」において、交通事業者等とのタイアップによるプロモーション事業や、県を挙げたおもてなし態勢の整備等を実施する。

【参考】秋田の観光創生推進会議

設立：平成27年4月24日

会員：98団体（県、市町村、観光関係団体、経済団体、マスコミ等）

事業期間：平成27年度～32年度

事業費：約50,000千円/年間

※負担割合：県1/2、市町村1/4、各種団体・民間1/4

(3) 教育旅行誘致事業 565千円

北海道や首都圏において、（一社）東北観光推進機構等が主催する教育旅行誘致セミナーに参加するとともに、地域や民間と連携して学校や旅行会社等を訪問する。

3 予算額 110,581千円

(1) 「秋田犬の里」集中プロモーション事業 85,016千円

内 訳	(<table border="0"> <tr> <td>・旅費</td> <td>2,468千円</td> </tr> <tr> <td>・需用費</td> <td>870千円</td> </tr> <tr> <td>・役務費</td> <td>855千円</td> </tr> <tr> <td>・委託料</td> <td>79,773千円</td> </tr> <tr> <td>・使用料及び賃借料</td> <td>1,050千円</td> </tr> </table>)	・旅費	2,468千円	・需用費	870千円	・役務費	855千円	・委託料	79,773千円	・使用料及び賃借料	1,050千円
・旅費		2,468千円									
・需用費		870千円									
・役務費		855千円									
・委託料		79,773千円									
・使用料及び賃借料	1,050千円										

(2) 多様な民間事業者とタイアップした誘客推進事業 25,000千円

(負担金補助及び交付金)

(3) 教育旅行誘致事業 565千円

内 訳	(<table border="0"> <tr> <td>・旅費</td> <td>434千円</td> </tr> <tr> <td>・需用費</td> <td>115千円</td> </tr> <tr> <td>・役務費</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>・使用料及び賃借料</td> <td>10千円</td> </tr> </table>)	・旅費	434千円	・需用費	115千円	・役務費	6千円	・使用料及び賃借料	10千円
・旅費		434千円							
・需用費		115千円							
・役務費		6千円							
・使用料及び賃借料	10千円								

**あきた発酵ツーリズム推進事業について
(地方創生推進交付金)**

観光振興課

1 目的

国内外からの更なる誘客に向け、本県が誇る優れた発酵食文化を誘客コンテンツとして活用するための体制づくりや旅行商品化の促進を図る。

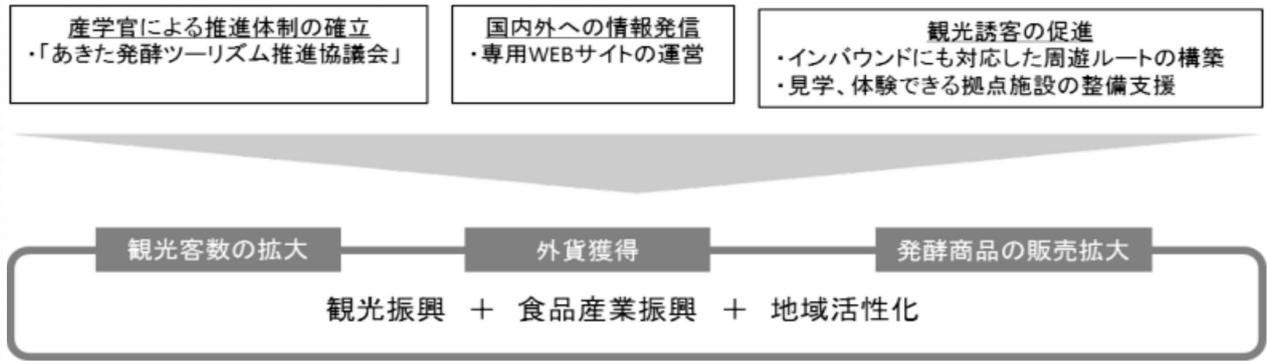
2 概要

- (1) 「あきた発酵ツーリズム推進協議会」の開催 [秋田うまいもの販売課] 557千円
 - ・構成：観光団体、旅行会社、交通事業者、学識経験者等
 - ・実施時期：平成30年5月、10月
 - ・実施内容：発酵ツーリズム推進方針の策定、国内外への情報発信や誘客対策への提言

- (2) 見学や体験が可能な施設等の情報発信 [秋田うまいもの販売課] 378千円
 - ・実施内容：WEBサイトの運営、施設情報の追加

- (3) 旅行商品化の促進 9,057千円
 - ・実施内容：モデル周遊ルートの開発、旅行会社等の招へい

【参考】「あきた発酵ツーリズム」の取組方向



3 予算額

- (1) 「あきた発酵ツーリズム推進協議会」の開催 557千円
 - 内訳 (・報償費 100千円)
 - (・旅費 147千円)
 - (・需用費 100千円)
 - (・使用料及び賃借料 210千円)

- (2) 見学や体験が可能な施設等の情報発信 378千円
(委託料)

- (3) 旅行商品化の促進 9,057千円
 - 内訳 (・旅費 184千円)
 - (・需用費 220千円)
 - (・役務費 200千円)
 - (・委託料 8,413千円)
 - (・使用料及び賃借料 40千円)

秋田県の外国人延べ宿泊者数
(従業者数10人以上の施設)

単位:人泊

国籍(出身地)	平成28年	平成29年	比較
台湾	24,550	37,600	153%
韓国	8,190	10,170	124%
タイ	1,700	3,960	232%
中国	4,980	7,570	152%
香港	3,280	6,230	190%
その他	19,660	20,530	104%
計	62,360	86,060	138%

※平成29年は11月末までの二次速報値
(出典 観光庁「宿泊旅行統計調査」)

【現状】

- 平成29年の外国人延べ宿泊者数は11月末時点で対前年比145%の91,890人泊と増加しているが、全国43位、東北では最下位となっている。
- このうち、従業者数10人以上の施設を対象とした国籍別区分(右図参照)では86,060人泊となっており、チャーター便等を利用して来県する台湾からの宿泊者が44%を占めている。
- また、新たなマーケットとしてプロモーションを強化したタイ(262%)及び香港(204%)の伸び率も高くなっている。

《重点市場におけるH29年度の動向》

- ・台湾チャーター120便超
- ・韓国冬季チャーターの運航
- ・中国での本格的な取組開始
- ・タイ観光客の急激な拡大

H29年度実績
外国人延べ宿泊者数
10万人泊にせまる勢い

【目標】平成33年度
までには**20万人泊**
を目指す

国際航空路線の拡充促進

- ・秋田ソウル国際定期便運航再開に向けた韓国におけるチャーター便の運航促進
- ・台湾チャーター便の季節定期便化に向けたトップセールスやエージェント支援
- ・中国、タイにおけるチャーター便運航に向けたトップセールス等
- ・秋田発国際チャーター便(アウトバウンドチャーター)の運航支援

観光流動拡大に向けた
航空ネットワークの構築

キラコンテンツの整備

～選ばれる誘客コンテンツづくり～

<秋田犬>

- ・秋田犬ふれあいラインの集中キャンペーンの実施
- ・計画的な事前PRと秋田犬展示の集中実施
- ・秋田犬ふれあい展示施設の整備支援



<里山サイクリング>

- ・AKITA里山サイクリングフェスタの開催
- ・地域協議会などの受入体制づくりの強化
- ・スポーツアクティビティ設備の整備支援



<あきたで美人に>

- ・旅行エージェントへの旅行商品造成に向けたセールス強化
- ・「あきたで美人に！」をテーマにしたコンテンツの情報発信強化、整備支援

上記に加え...

- ・体験型コンテンツの収集及び磨き上げを実施

⇒ セールスシート化《WEB、SNSで情報発信、海外エージェント向け》

FITの誘客強化

デジタルプロモーションの推進

- ・デジタルマーケティング手法を活用したプロモーションの展開
- ・北海道ツアーを経由した本県への周遊ルートの構築
- ・東京、北海道での訴求効果の高い手法を用いた集中PRの定着化
- ・乗客向けパンフレットの作成など外航クルーズ対策の強化

分析結果の活用

重点市場での誘客プロモーション

～認知度向上から誘客対策へ～

<台湾>

- ・FIT向け対策として、旅行商品を連動させたブLOGGER招へいを実施
- ・旅行博への出展、SNSによる情報発信の強化



<韓国>

- ・仙台空港経由の旅行商品造成支援による、需要の掘り起こし
- ・トレッキングやスキー、マラソンなどを活用した県内宿泊商品造成

<タイ>

- ・「あきた観光大使」をフルに活用した現地でのイベント開催、FIT向け旅行商品販売促進
- ・FIT向け旅行商品造成に向けた、ブLOGGER招へいによる情報発信の強化

<中国(香港)>

- ・北京、上海、香港、広州からの富裕層をターゲットにした旅行商品造成
- ・TV番組放映及びそれと連動したSNSプロモーションの実施
- ・羽田空港等からの国内線乗り継ぎ便を活用した旅行商品造成



<広域連携による取組>

- ・北東北三県連携(十和田・八幡平、北東北「食街道」)
- ・東北六県連携(レンタカー観光、デジタルコンテンツ活用スノーコンテンツ活用等)

受入環境の整備

リピーターの増加に
向けた満足度の向上

<アキタ/NAVIの充実>

- ・掲載情報の充実(飲食店・体験型コンテンツ等)

<二次アクセスの強化>

- ・安定運行体制の構築

<観光連盟による観光事業者インバウンド対応力の向上>

- ・観光バス業界など支援先の多様化
- ・「外国人旅行者に慣れる」研修



市町村事業(県事業と一体となった実施)

- ・地域DMOと連携した事業展開
「秋田犬ツーリズム」、「秋田しらかみDMO(仮称)」
- ・地域特有のコンテンツの活用
ジオパーク、サイクリング、雪文化、樹氷、桜
- ・二次アクセスの整備・充実
秋田中央横軸連携、なまはげシャトル、こまちシャトル

地域の組織体制

体験型コンテンツ

受入態勢

訪日外国人受入環境整備事業について
(東北観光復興対策交付金)

観光振興課

1 目 的

訪日外国人旅行者の更なる誘客を図るため、県内各地における二次アクセスや体験型コンテンツの整備を進めるとともに、観光施設等における受入態勢等を強化する。

2 概 要

(1) 二次アクセス整備促進事業 **1, 703千円**

県内各地における二次アクセスの整備に向けた取組を支援するため、地域における検討会議等に対し専門家アドバイザーを派遣するとともに、情報交換のための連絡会議や研修会を開催する。

(2) 外国人旅行者向け体験型コンテンツ整備事業 **11, 695千円**

秋田ならではの伝統・生活文化等に根ざした体験型コンテンツに関し、旅行会社が旅行商品を造成する際に必要な情報を多言語で整理したセールスシートを追加するとともに、WEBサイトを活用した海外への情報発信の強化を図る。

(3) 観光施設等におけるインバウンド対応力向上支援事業 **12, 448千円**

バス等交通事業者用の作成など、外国人とのコミュニケーションツールの拡充を図るとともに、観光ガイド団体、宿泊施設、交通事業者等を対象とするインバウンド対応スキルアップ研修等を実施する。

(4) 外国人旅行者向けアプリケーション整備事業 **16, 003千円**

飲食店情報の追加など、外国人旅行者向けの多言語対応アプリの内容を充実するとともに、今後のマーケティングに役立てるため、アプリ利用者の県内での移動状況(滞在場所、滞在時間)等の動向分析機能を整備する。

3 予算額 **41, 849千円**

(1) 二次アクセス整備促進事業 **1, 703千円**

内 訳	・ 旅 費	94千円
	・ 需用費	120千円
	・ 役務費	50千円
	・ 委託料	1, 419千円
	・ 使用料及び賃借料	20千円

(2) 外国人旅行者向け体験型コンテンツ整備事業 11,695千円

内 訳	・旅 費	141千円
	・需用費	120千円
	・役務費	50千円
	・委託料	11,384千円

(3) 観光施設等におけるインバウンド対応力向上支援事業 12,448千円

内 訳	・旅 費	47千円
	・需用費	120千円
	・役務費	50千円
	・委託料	12,231千円

(4) 外国人旅行者向けアプリケーション整備事業 16,003千円

内 訳	・旅 費	53千円
	・需用費	321千円
	・役務費	50千円
	・委託料	15,579千円

国際航空路線拡充促進事業について

観光振興課

1 目的

重点市場からの誘客を拡大するため、トップセールス等により台湾からの定期便就航や韓国との定期便運航再開、中国等からのチャーター便誘致を目指すとともに、秋田発着の国際チャーター便の運航支援を行う。

2 概要

(1) 国際定期便化等推進事業（東北観光復興対策交付金） 136,996千円

航空会社や旅行会社へのトップセールス等を行うとともに、チャーター便の運航や秋田泊旅行商品を造成する旅行会社等に対し支援を行う。

- ・航空会社などへのトップセールス等：台湾、韓国、中国、タイ
- ・チャーター便の運航支援：台湾、韓国、中国
- ・秋田泊旅行商品の造成支援：台湾、韓国、中国

(2) 秋田発国際チャーター便運航促進事業 10,000千円

台湾チャーター便の定期便化や秋田・ソウル国際定期便の運航再開に向け、本県からのアウトバウンド需要の確保が重要であることから、秋田発着の国際チャーター便を運航する旅行会社等に対して支援を行う。

3 予算額 146,996千円

(1) 国際定期便化等推進事業 136,996千円

内 訳	・ 報償費	50千円
	・ 旅 費	11,300千円
	・ 需用費	100千円
	・ 役務費	100千円
	・ 委託料	125,446千円

(2) 秋田発国際チャーター便運航促進事業 10,000千円

(負担金補助及び交付金)

重点市場におけるF I T誘客プロモーション事業について
(東北観光復興対策交付金)

観光振興課

1 目的

訪日外国人旅行者の更なる誘客を図るため、重点市場においてF I Tを対象にS N S等を活用した情報発信を強化し、秋田泊旅行商品の造成及び販売促進のためのプロモーションを展開する。

2 概要

- (1) 台湾誘客促進事業 35,180千円
- ① 高雄市観光交流促進事業
高雄市での「高雄ランタンフェスティバル」と連携した観光PRイベントや教育旅行関係者等の招へい事業による相互交流を通じて、本県の認知度向上を図る。
 - ② 旅行商品造成拡大誘客促進事業
旅行会社等の招へいや、現地での商談会の開催により、秋田泊旅行商品の造成・販売促進を図る。
 - ③ F I T向け情報発信強化事業
旅行博への出展や、台湾向け公式フェイスブック「秋田パパ走」等を活用した情報発信など、個人旅行者に対する観光PRの強化を図る。
- (2) 韓国誘客促進事業 16,759千円
- ① 韓国誘客強化事業
航空会社や旅行エージェント等を招へいするほか、冬季誘客に向けたスノーアクティビティセミナーを開催し、スキーや温泉などテーマ性のある旅行商品の造成拡大を図る。
 - ② 秋田の新しい魅力発信強化事業
秋田の祭りや花火、酒蔵開放や食文化など、伝統とストーリー性のあるコンテンツについて、雑誌編集者や新聞記者等を招へいし情報発信するとともに、旅行博に出展し秋田泊旅行商品のPRを行う。
- (3) タイ誘客促進事業 39,651千円
- ① 「あきた観光大使」等活用誘客事業
タイ人俳優の「あきた観光大使」が出演した動画の放映や写真を展示するイベントを開催するほか、ロケ地が含まれる秋田泊旅行商品の造成や販売を支援する。
 - ② タイ誘客ステップアップ事業
F I Tを対象とした旅行博に出展するとともに、旅行エージェント向けの観光セミナーやWEB広告を活用し、秋田泊旅行商品の周知を図るプロモーションを行う。
- (4) 中国・香港誘客促進事業 39,177千円
- ① 中国富裕層F I T向け情報発信強化事業

観光コンテンツを紹介するTV番組を制作・放映するとともに、SNSと連動したプロモーションを行う。

② 「高質な田舎・秋田」誘客促進事業

中国や香港の旅行会社の招へいや商談会を行うとともに、旅行博へ出展するほか、オンライン旅行会社と連携したプロモーションを実施し、秋田泊旅行商品の造成促進を図る。

3 予算額 130,767千円

(1) 台湾誘客促進事業 35,180千円

内 訳	・報酬	2,170千円
	・共済費	336千円
	・報償費	104千円
	・旅費	2,562千円
	・需用費	600千円
	・役務費	800千円
	・委託料	28,508千円
	・使用料及び賃借料	100千円

(2) 韓国誘客促進事業 16,759千円

内 訳	・報償費	200千円
	・旅費	3,245千円
	・需用費	100千円
	・役務費	250千円
	・委託料	12,864千円
	・使用料及び賃借料	100千円

(3) タイ誘客促進事業 39,651千円

内 訳	・報償費	162千円
	・旅費	2,701千円
	・需用費	300千円
	・役務費	200千円
	・委託料	36,238千円
	・使用料及び賃借料	50千円

(4) 中国・香港誘客促進事業 39,177千円

内 訳	・報償費	100千円
	・旅費	2,495千円
	・需用費	350千円
	・役務費	350千円
	・委託料	35,832千円
	・使用料及び賃借料	50千円

デジタルプロモーション推進事業について
(東北観光復興対策交付金)

観光振興課

1 目的

訪日リピート客を本県へ誘導するため、日本における次の旅行先として秋田を強く印象づけるためのセカンドデスティネーション戦略を引き続き行うとともに、デジタルマーケティング手法を活用した映像制作を含むデジタルプロモーションを展開する。

2 概要

(1) デジタルマーケティング活用誘客事業【新規】[観光戦略課] 30,808千円

秋田犬、秋田美人、雪国文化など「高質な田舎・秋田」を海外に強く印象づける動画を用い、対象市場の特性に応じたきめ細かなネット配信を行うことにより、視聴者の属性を分析し、今後の海外における誘客プロモーションの展開に活用する。

(2) セカンドデスティネーション戦略推進事業 26,331千円

① セカンドデスティネーション受入推進事業

モデルコースの商品化に向け、受入態勢の強化やモニターツアーによる検証を行うとともに、東京や北海道地域において引き続き秋田を印象づけるための集中プロモーションを実施する。

② 東京都連携事業

東京を訪れた個人旅行者が東北地方を訪れるよう、東京都と連携して東北地方の魅力を発信し、本県の認知度向上による誘客促進を図る。

③ 訪日・在日外国人向け情報発信事業

体験型コンテンツ等の本県観光情報を集約した情報発信ツールを制作し、訪日外国人及び駐在外国人への情報発信を行う。

④ 多言語情報発信事業

多言語の観光パンフレットを制作し、訪日外国人の利用者が多い国際空港や都内観光情報センター等に配置することにより、本県の認知度向上と誘客促進を図る。

⑤ 外航クルーズ船誘客促進事業

外航クルーズ船の寄港時に配布する、観光施設や体験プログラム、交通アクセスを記載した観光パンフレットを制作する。

3 予算額 57,139千円

(1) デジタルマーケティング活用誘客事業 30,808千円

内 訳	・旅 費	158千円
	・需用費	150千円
	・役務費	50千円
	・委託料	30,450千円

(2) セカンドデスティネーション戦略推進事業

26,331千円

内 訳	・旅 費	1,862千円
	・需用費	100千円
	・役務費	250千円
	・委託料	22,241千円
	・使用料及び賃借料	1,878千円

F I Tに対応したキラーコンテンツ整備事業について
(東北観光復興対策交付金)

観光振興課

1 目的

台湾や香港等を中心に増加傾向にあるF I T層の誘客促進を図るため、本県ならではのキラーコンテンツを活用した情報発信を強化するとともに、秋田泊旅行商品の造成支援を図る。

2 概要

(1) 秋田犬を活用したF I T誘客対策事業 **13,499千円**

外国人にも人気の高い「秋田犬」を活用し、「秋田犬ふれあいライン」沿線でのふれあい展示や旅行商品の造成促進、SNS広告やWEBサイトにより認知度向上を図るキャンペーンを実施する。

(2) AKITA里山サイクリング推進事業 **13,642千円**

① AKITA里山サイクリング磨き上げ事業

里山サイクリング関連団体のネットワークを拡大するとともに、受入環境やサイクリング体験プログラムの整備、サイクリスト等による試走・検証を行うほか、旅行商品造成を支援する。

② AKITA里山サイクリング発信事業

海外メディアやサイクリスト等を招へいし、モデルコースを活用したサイクリングイベントを行うとともに、WEBサイトによる情報発信を行う。

・対象市場：台湾、香港

(3) “あきたで美人に！”推進事業 **14,591千円**

① “あきたで美人に！”誘客促進事業

旅行エージェント等を招へいし、団体向けの旅行商品造成を促進するとともに、F I Tを対象にオンライン旅行会社等と連携したキャンペーンを行うほか、ツアーコースの検証を実施する。

・対象市場：台湾、韓国、中国、香港、欧米等

② “あきたで美人に！”認知度向上事業

海外のメディアや女性ブロガーを招へいし情報発信を強化することにより、秋田美人に関するコンテンツの認知度向上を図る。

(4) モーグルの聖地「秋田・たざわ湖」ブランド化事業 **11,679千円**

スキーやスノーボードのバックカントリーコースの安全対策の実施やツアーガイドの育成に取り組むとともに、旅行博への出展や旅行会社へのセールスを行う。

・対象市場：台湾、韓国、豪州

3 予算額		53,411千円
(1) 秋田犬を活用したF I T誘客対策事業		13,499千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 94千円 ・需用費 100千円 ・役務費 150千円 ・委託料 13,155千円 	
(2) A K I T A里山サイクリング推進事業		13,642千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 223千円 ・需用費 100千円 ・役務費 100千円 ・委託料 13,219千円 	
(3) “あきたで美人に！” 推進事業		14,591千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 1,136千円 ・需用費 300千円 ・役務費 300千円 ・委託料 12,815千円 ・使用料及び賃借料 40千円 	
(4) モーグルの聖地「秋田・たざわ湖」ブランド化事業		11,679千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 2,747千円 ・需用費 50千円 ・役務費 150千円 ・委託料 8,732千円 	

広域観光連携誘客促進事業について
(東北観光復興対策交付金)

観光振興課

1 目的

訪日外国人旅行者の観光流動を促進するため、北東北三県や東北六県等との連携による広域的なプロモーションを展開する。

2 概要

(1) 十和田・八幡平観光ブラッシュアップ事業 **24,773千円**

① 十和田・八幡平ステップアップ事業

旅行商品造成のための広告支援や、個人旅行者を対象にオンライン旅行会社と共同キャンペーンを実施するほか、二次アクセスに係る利便性の拡充実験や人材育成セミナーを行う。

・対象市場：台湾、中国、香港、韓国、タイ

② 十和田・八幡平イメージアップ事業

海外メディアやブロガー等を招へいし情報発信を行うほか、環境省等との相互リンクによるホームページの拡充を図るとともに、WEBサイトへのバナー広告を掲出する。

(2) 北東北「食街道」周遊プロモーション事業 **24,188千円**

① “北東北食街道”商品造成事業

台湾の旅行エージェントやメディア、ブロガー等を招へいし、北東北の食を巡る旅行商品の造成を促進するほか、オンライン旅行会社等と連動したプロモーションを実施する。

② “北東北食街道”情報発信事業

台湾のTV番組や雑誌、WEBサイト等による情報発信を行う。

(3) 東北広域マーケティング事業 **9,525千円**

東北地方を訪れる外国人旅行者のマーケティングデータを分析し、PDCAサイクル確立のための検証を行うとともに、観光マーケティング人材育成に向けた研修を実施する。

(4) 東北の魅力ある観光コンテンツを活用したオール東北連携事業 **49,387千円**

① デジタルコンテンツを活用した誘客促進事業

「東北地方の四季」のPR動画による広告展開を行い、旅行会社の販売サイトや宿泊予約サイトへの誘導を促す。

・対象市場：欧米豪、タイ、マレーシア、台湾、韓国、香港、中国等

② ソーシャルメディアを活用した誘客促進事業

口コミサイトへの投稿促進を図るとともに、口コミを基にした旅行者動向の分析や、観光事業者等を対象とした口コミ活用セミナーを実施する。

③ 旅行会社等と連携した誘客促進事業

旅行博等に合わせた共同広告や、現地旅行会社の店舗にポスター等を掲出し東北をPRするほか、ガイドブックを活用した情報発信等を行う。

④ 冬の東北と着地コンテンツ整備事業

広域連携ワークショップ等を開催するほか、観光関係者や東北六県のレンタカー事業者等と連携した取組の推進を図る。

※(1)～(2)は北東北三県共同事業

※(3)～(4)は東北六県等による共同事業

3 予算額 107,873千円

(1) 十和田・八幡平観光ブラッシュアップ事業 24,773千円

内 訳	・旅 費	970千円
	・需用費	200千円
	・役務費	100千円
	・委託料	23,503千円

(2) 北東北「食街道」周遊プロモーション事業 24,188千円

内 訳	・報償費	50千円
	・旅 費	838千円
	・需用費	100千円
	・役務費	100千円
	・委託料	23,100千円

(3) 東北広域マーケティング事業 9,525千円

内 訳	・旅 費	225千円
	・需用費	250千円
	・役務費	50千円
	・委託料	9,000千円

(4) 東北の魅力ある観光コンテンツを活用したオール東北連携事業 49,387千円

内 訳	・旅 費	2,287千円
	・需用費	1,000千円
	・役務費	200千円
	・委託料	45,900千円

アンテナショップ運営事業について

秋田うまいもの販売課

1 目的

県外における県のアンテナショップにおいて、県産品のPRや新規顧客層を開拓するイベントを実施するなど、秋田を売り込むための情報受発信機能の充実や運営強化を図る。

2 概要

(1) 東京アンテナショップ運営事業 95,104千円

① あきた美彩館の店舗等を活用した情報の受発信の機能強化

- ・店舗内や店舗前広場で物産・観光PRイベントを開催(年3回)
- ・親子を対象にした秋田の食文化体験イベントを開催(年2回)
- ・市町村等と連携した食のPRイベントを開催(年2回)
- ・京急グループと連携した秋田の食と日本酒のPRイベント(年1回)

② アンテナショップの運営強化

アンテナショップ運営協議会への参加、衛生指導・衛生講習会の実施、日本酒売場の充実等

③ 店舗賃料及び敷金

- ・賃料: 53,230千円(月額42,000円(税抜)/坪、97.79坪)
- ・敷金: 32,858千円(賃料(税抜)の8か月分)

(2) 福岡アンテナショップ運営事業 992千円

① 県産品フェアの開催

みちのく夢プラザ内において、県産品のPRや販売促進を図るための秋田フェアを開催する。

② 外販促進のための商談会の開催

店舗の定休日を活用して、周辺飲食店を対象とした県産酒や県産品の商談会を開催する。

3 予算額 96,096千円

(1) 東京アンテナショップ運営事業 95,104千円

内 訳	・報償費	390千円
	・旅 費	2,309千円
	・需用費	876千円
	・使用料及び賃借料	86,107千円
	・役務費	2,482千円
	・委託料	2,248千円
	・備品購入費	692千円

(2) 福岡アンテナショップ運営事業 992千円

内 訳	・旅 費	468千円
	・需用費	30千円
	・役務費	97千円
	・委託料	397千円

県産品販路拡大対策事業について

秋田うまいもの販売課

1 目的

県内や首都圏で商談会を開催するとともに、市町村やパートナー企業との連携、首都圏での物産販売イベントの開催を通じ食品事業者等への販促機会を提供するほか、消費者ニーズを反映させた商品開発を進め、県産品の販路拡大を図る。

2 概要

(1) 県産食材マッチング商談会開催事業 15,000千円

加工食品や農林水産物などを県内外のバイヤー等に広く紹介し販路拡大を図るため、「県産品マッチング商談会」を秋田市及び東京都で開催し、一次産品から加工品まで幅広く県産食材のマッチング機会を創出する。

① 県内商談会及び現地商談

- ・実施時期：平成30年7月
- ・実施場所：秋田テルサ
- ・出展者：県内事業者約130社
- ・来場予定者：約500名

② 首都圏商談会

- ・実施時期：平成31年1月
- ・実施場所：首都圏イベント会場
- ・出展者：県内事業者約60社
- ・来場予定者：約500名

(2) 販売力・商品カレレベルアップ事業 2,630千円

秋田の新たな顔となる特産品を2部門で表彰する。

- ・食品部門：金賞1点、銀賞3点 ほか奨励賞
- ・工芸品部門：金賞1点、銀賞1点 ほか奨励賞

(3) 「秋田犬の里」首都圏プロモーション事業 6,345千円

海外で人気の高い「秋田犬」のふるさとをアピールし、インバウンドも見据えた秋田への誘客を図るため、食や観光の一体的なイベントを開催する。

- ・実施時期：平成31年1月
- ・実施場所：東京都内イベント会場
- ・ブース数：40程度

(4) パートナー企業と連携した販路拡大事業 4,370千円

JR東日本や京急電鉄と連携し、県産品の販売促進や新商品の提案等を行い、秋田ファンの拡大や観光誘客を図る。

① JR東日本と連携した販売力強化対策

ア チャレンジマルシェ

秋田駅ぽぽろーどで、平成30年9月から11月にかけて地域振興局ごとに県産品の直売や観光PRを実施する。

イ あきた産直市

JR上野駅や大宮駅で、平成30年9月から11月にかけて県産品の直売や観光PRを実施する。

② 京急電鉄と連携した販売力強化対策

ア あきたスイーツフェア

京急百貨店等で本県のスイーツフェアを開催し、販路拡大を図る。

イ プライベートブランド商品の造成と販促

県産品を活用したプライベートブランド商品を京急グループと連携して開発し、京急百貨店等で販売する。

(5) お土産開発支援事業 2,624千円

(株)生産者直売のれん会と連携し、県内事業者が新たに開発した「東京おしょうゆ土産」の販路拡大や販売促進を図り、首都圏でのお土産品としての定着を目指す。

3 予算額 30,969千円

(1) 県産食材マッチング商談会開催事業 15,000千円

内訳

・報酬	2,170千円
・共済費	352千円
・報償費	10千円
・旅費	818千円
・需用費	132千円
・役務費	33千円
・使用料及び賃借料	47千円
・委託料	11,438千円

(2) 販売力・商品カレレベルアップ事業 2,630千円

内訳

・旅費	113千円
・需用費	50千円
・役務費	33千円
・委託料	2,434千円

(3) 「秋田犬の里」首都圏プロモーション事業 6,345千円

内訳

・旅費	1,012千円
・需用費	37千円
・役務費	170千円
・委託料	5,126千円

(4) パートナー企業と連携した販路拡大事業 4,370千円

内訳

・旅費	864千円
・需用費	18千円
・役務費	10千円
・使用料及び賃借料	508千円
・委託料	2,970千円

(5) お土産開発支援事業 2,624千円

内訳

・旅費	170千円
・需用費	30千円
・委託料	2,424千円

クールアキタ食の輸出拡大支援事業について

秋田うまいもの販売課

1 目的

日本酒をはじめとする県産品の輸出拡大を図るため、民間事業者と連携して、海外での国際見本市への出展や県産品の試飲試食商談会等を開催する。

2 概要

(1) 台湾への輸出促進対策事業 7, 136千円

台湾のバイヤーを招へいしニーズに合った商品選定を行った上で、現地での試飲試食商談会等を開催し、県産品の販路拡大を図る。

- ・フード台北への出展（平成30年6月）
- ・台湾バイヤーの招へい（平成30年7月）
- ・現地試飲試食商談会の開催（平成30年10月）

(2) 県産品ブランディング事業 9, 890千円

食に対する感度が高く、情報発信力のあるフランス（パリ）において、県産品のブランド価値を高めることで販路開拓・拡大を図る。

- ・日本食を扱う現地店舗でのテストマーケティング（平成30年6月～8月）
- ・現地レストランを対象とした展示会及びメニュー提案会（平成30年9月）
など

(3) 産地間連携県産品輸出支援事業 2, 202千円

国の助成制度を活用し、(一社)秋田県貿易促進協会との連携により、タイにおける県産品のプロモーション及び試飲試食商談会等を実施する。

- ・他県と連携した食品フェア及び展示商談会の開催（平成30年10月）

3 予算額 19, 228千円

(1) 台湾への輸出促進対策事業 7, 136千円

内 訳	・ 報償費	21千円
	・ 旅 費	1, 513千円
	・ 需用費	145千円
	・ 役務費	243千円
	・ 使用料及び賃借料	46千円
	・ 委託料	5, 168千円

(2) 県産品ブランディング事業

9, 890千円

内 訳	・ 報償費	12千円
	・ 旅 費	1,455千円
	・ 需用費	80千円
	・ 役務費	100千円
	・ 使用料及び賃借料	25千円
	・ 委託料	7,218千円
	・ 負担金補助及び交付金	1,000千円

(3) 産地間連携県産品輸出支援事業

2, 202千円

内 訳	・ 報償費	9千円
	・ 旅 費	119千円
	・ 需用費	18千円
	・ 役務費	82千円
	・ 使用料及び賃借料	20千円
	・ 負担金補助及び交付金	1,954千円

秋田米の加工利用促進事業について【新規】

秋田うまいもの販売課

1 目的

米菓をはじめとする米加工品について、関係機関による協議会を開催し、商品開発や販路拡大の可能性を探るとともに、県内の米加工品に対する販路開拓を支援することにより、米加工品を重点分野として育成し、本県食品産業の振興と県産米の利用促進を図る。

2 概要

(1) 米加工品分野重点育成事業 897千円

県内外の米加工分野の市場調査等を実施し、商品開発や販路拡大の可能性を探るとともに、原料調達から加工まで一貫して行う態勢を構築するため、「秋田米の加工利用促進協議会（仮称）」を開催する。

【秋田米の加工利用促進協議会（仮称）案】

[構成]	J A全農あきた、秋田県中小企業団体中央会、食品事業者、県外バイヤー、あきた企業活性化センター、総合食品研究センター、関係各課 など
[検討事項]	・米加工品の市場動向や商品開発、販路開拓のあり方 ・食品加工分野における県産米の利用促進 ・食品事業者等による連携体の構築 など

(2) 米加工品分野販路開拓支援事業 2,276千円

先行して商品化が進んでいる県内の米加工品の販路開拓を図るため、首都圏で開催される商談会への出展を支援するとともに、商品のブランディングについて専門家による指導を行う。

3 予算額 3,173千円

(1) 米加工品分野重点育成事業 897千円

内 訳	・報償費	200千円
	・旅 費	648千円
	・需用費	20千円
	・使用料及び賃借料	29千円

(2) 米加工品分野販路開拓支援事業 2,276千円

内 訳	・旅 費	227千円
	・委託料	2,049千円

広域交通ネットワーク維持・誘客促進事業について

交通政策課

1 目的

交流人口の拡大や、本県の産業・経済の活性化に必要不可欠な広域交通ネットワークを維持するため、秋田空港及び大館能代空港利用促進協議会並びに秋田県環日本海交流推進協議会を通じて実施する誘客促進策や情報発信等を充実・強化する。

2 概要

(1) 広域交通ネットワーク誘客促進事業 11,800千円

① 秋田空港利用促進事業 3,500千円

秋田空港利用促進協議会及び航空会社等と連携し、航空会社が実施する乗継利用に係るキャンペーンに対する支援や秋田空港の利用者への特典付与等により空港の利用を促進する。

② 大館能代空港利用促進事業 7,300千円

大館能代空港利用促進協議会と連携した誘客促進策を実施する。

ア 路線を利用する旅行商品の造成経費や貸切バス借上料への助成

○補助対象者：大館能代空港を利用する旅行商品を造成する旅行会社

○補助対象経費、補助金額等

・旅行商品造成経費：上限100千円

(ただし12月から2月に催行する旅行商品等は20万円)

・貸切バス借上料：補助率1/2

┌ 上限100千円/台 (県内に1泊)

└ 上限150千円/台 (県内に2泊以上)

イ レンタカー付き旅行商品販売促進キャンペーン

大館能代空港へ到着する個人向けレンタカー利用付き旅行商品を、旅行会社が販売し、該当商品を予約した方へ、ターミナルビル内の店舗で利用できる1,000円分の利用券をプレゼントする。

③ フェリー秋田航路維持・誘客促進事業 1,000千円

秋田県環日本海交流推進協議会と連携して、誘客促進事業を実施する。

ア 秋田航路を利用した旅行商品の造成経費への助成

○補助対象者：フェリー秋田航路を利用する旅行商品を造成する旅行会社

○限度額：100千円

イ 北海道での観光PR等

(2) 秋田空港利用促進協議会負担金 1,030千円

就航地でのPR活動等の利用促進事業を展開するため、秋田空港利用促進協議会へ負担金を拠出する。

(3) 大館能代空港利用促進協議会負担金 2,600千円
大館能代空港を起点とした送客促進策等を展開するため、大館能代空港利用促進協議会へ負担金を拠出する。

3 予算額 15,430千円

(1) 広域交通ネットワーク誘客促進事業 11,800千円
(負担金補助及び交付金)

(2) 秋田空港利用促進協議会負担金 1,030千円
(負担金補助及び交付金)

(3) 大館能代空港利用促進協議会負担金 2,600千円
(負担金補助及び交付金)

奥羽・羽越新幹線整備促進事業について

交通政策課

1 目的

昭和48年に国の基本計画に位置づけられた奥羽、羽越両新幹線の整備を促進するため、調査研究を行い、国やJR等に対して提案を行うとともに、市町村や経済団体等と一体となった広報活動等により気運の醸成を図る。

2 概要

(1) シンポジウム等の開催 1,013千円

県、市町村、経済団体等が官民一体となって整備促進に取り組む気運の醸成を図るため、シンポジウムや研修会を開催する。

(2) 要望活動の実施 430千円

国、JR等への要望活動を実施する。

(3) 奥羽・羽越新幹線の整備促進に向けた調査研究の推進 9,099千円

整備計画路線格上げに必要な国の調査実施を目指し、沿線県と連携して地域の将来ビジョン、沿線地域の実情に応じた整備手法等に関する調査・研究を実施する。

・調査項目：新幹線を活用した地域ビジョンの策定、地域の実情に応じた整備手法の研究、費用対効果分析の算出 等

(4) 若者への啓発及び意見交換 341千円

新幹線の果たす役割と効果等について、県内大学生など未来を担う若者と意見交換を実施し、気運の醸成を図る。

(5) 啓発広報活動の実施 1,000千円

普及啓発リーフレットやポスター等を作成し、県民運動としての気運の醸成を図る。

3 予算額 11,883千円

(1) シンポジウム等の開催 1,013千円

内 訳	・ 報償費	150千円
	・ 旅 費	216千円
	・ 需用費	335千円
	・ 役務費	12千円
	・ 使用料及び賃借料	300千円

(2) 要望活動の実施		430千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 408千円 ・需用費 22千円 	
(3) 奥羽・羽越新幹線の整備促進に向けた調査研究の推進		9,099千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 1,020千円 ・需用費 73千円 ・役務費 6千円 ・負担金補助及び交付金 8,000千円 	
(4) 若者への啓発及び意見交換		341千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費 100千円 ・旅 費 81千円 ・需用費 100千円 ・使用料及び賃借料 60千円 	
(5) 啓発広報活動の実施		1,000千円 (委託料)

【参考】平成29年度の実施状況

○シンポジウムの開催

- ・平成29年5月に京都大学藤井教授を招いて秋田市内でシンポジウムを開催。

○要望活動

- ・平成29年6月及び11月に市町村や経済団体等とともに国に対して実施。
- ・平成30年1月に関係6県（青森県、秋田県、山形県、福島県、新潟県及び富山県）とともに国等に対して実施。

○整備促進に向けた調査研究

- ・平成29年8月に関係6県と合同のプロジェクトチームを設置し、地域ビジョンの策定、費用対効果分析及び地域の実情に応じた整備手法等について調査・研究。
- ・これまで3回の検討会を開催し、基礎的な情報の収集・整理や費用対効果分析の基礎となる需要予測調査等を実施。

○若者への啓発

- ・平成30年2月に秋田大学において学生等との意見交換を実施。

○広報活動

- ・普及啓発用リーフレット等の作成や啓発用看板を設置（湯沢市院内地区）。

バス関連予算について

交通政策課

1 目的

地域住民の生活に必要不可欠なバス路線等の運行を確保するとともに、地域公共交通の再編に向けた取組を行うことにより、人口減少社会においても持続可能な地域公共交通網の形成を目指す。

2 概要

(1) 地方バス路線維持事業 82,783千円

広域的・幹線的な生活交通バス路線を維持するため、国と協調してバス事業者に対し運行経費の一部を助成する。

- ・補助率：国1/2（事業者への直接補助）、県1/2
- ・補助対象経費：運行経費（対象路線20系統）

(2) 生活バス路線等維持事業 204,761千円

地域内の生活交通を確保するため、市町村に対して運行経費等の一部を助成する。

① 生活バス路線等維持費補助金 58,961千円

市町村が助成している生活バス路線の運行経費に対して助成する。

- ・補助率：県1/2、3/8、1/8（平均乗車密度※により3段階に区分）
- ・補助対象経費：運行経費（対象路線72系統）

※ 起点から終点まで平均して乗客が何人いるかを算出した数値

② マイタウン・バス運行費等補助金 80,532千円

市町村が運営しているコミュニティバス等の運行経費等に対して助成する。

- ・補助率：県1/2、1/4（平均乗車密度により2段階に区分）
- ・補助対象経費：運行経費（対象路線179系統）、施設等整備費（1件）

③ 地域内フィーダー系統確保維持費補助金 62,756千円

市町村が運営又は助成しているコミュニティバス等のうち、国の地域内フィーダー系統補助金の対象となったものについて、市町村毎に定められた国庫補助上限額が、算出した補助金額を下回った場合、その差額を助成する。

- ・補助金額：補助対象経費の1/2－国庫補助上限額
- ・補助対象：9市町（106系統）

④ 地域公共交通広域再編推進事業 1, 666千円

複数市町村の連携により策定された地域公共交通網形成計画を踏まえて、広域的路線再編に向けた具体的な実施計画の策定を支援する。

- ・実施地域：1地域（五城目町、八郎潟町、大潟村）
 - ・実施主体：南秋地域公共交通活性化協議会
 - ・負担割合：国3／6※、県2／6、町村1／6※
- ※ 国及び町村負担分は協議会へ直接交付

⑤ 「地域の足」確保推進モデル事業【新規】 846千円

中山間地域をはじめとした公共交通サービスが低下している地域において、地域住民自らが生活交通を確保する取組を支援するとともに、地域の実情に応じた交通システムに関する調査研究を進め、その活用について検討する。

- ア 地域住民等による交通手段確保に向けた新規事業への支援
 - ・補助率：県1／2（上限500千円）
 - ・補助対象：1市町村（実施主体：NPO、自治会等）
- イ 新たな地域交通システムに関する事例調査・研究会の実施

3 予算額 287, 544千円

(1) 地方バス路線維持事業 82, 783千円
(負担金補助及び交付金)

(2) 生活バス路線等維持事業 204, 761千円

内 訳	{	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費 36千円 ・旅 費 282千円 ・需用費 28千円 ・負担金補助及び交付金 204, 415千円
-----	---	--

【参考】バス補助制度の概念図

交通政策課

運営主体	バス事業者		市町村	
運行形態	路線バス		コミュニティバス、乗合タクシー、デマンド交通 等	
補助制度 平均乗車密度	地方バス (=地域間幹線系統)	生活バス	マイタウン・バス	フィーダー (=地域内フィーダー系統)
5人以上	国1/2 県1/2 (全額補填)	県1/2 市町村1/2	県1/2 市町村1/2	
3人以上5人未満	国1/2 県1/2 (一部補填)	県3/8 市町村3/8		
1人以上3人未満 (市町村をまたぐ系統)		県1/8 市町村5/8		国&県1/2 市町村1/2
1人以上3人未満 (市町村内完結系統)				
1人未満		市町村が独自に支援する場合あり		

秋田内陸縦貫鉄道関連予算について

交通政策課

1 目的

秋田内陸線の持続的な運行を確保するため、経営の安定及び安全運行のための設備整備等に対して支援するとともに、利用促進に向けた取組を行う。

2 概要

- (1) 鉄道軌道輸送対策事業 118,507千円
鉄道の安全対策に係る設備整備等に対し国と協調して補助する。
・整備内容：軌道整備、車両検査、車両ワンマン改造等
・負担割合：国1/3※、県1/3、基金1/3
※ 会社への直接補助
- (2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 92千円
鉄道の維持確保及び経営基盤の安定化を図るため、基金運用益（受取利息）を基金に積み立てる。
- (3) 地方鉄道運営費補助事業 50,000千円
会社運営に必要な費用の一部を補助する。
・負担額：県0.5億円、2市（北秋田市、仙北市）1.5億円
- (4) 第三セクター鉄道利用促進事業 3,677千円
① 三セク鉄道利用促進事業 2,277千円
県市協働組織「秋田内陸活性化本部」を事務局とする協議会への負担金を支出し、イベントPRやマスコミを活用した利用促進事業などを展開する。
② 「秋田内陸線の旅」制作事業 1,400千円
内陸線沿線の観光・食・イベント情報等を掲載したパンフレットを、沿線市及び大館市、弘前市と連携して作成する。パンフレットはJR東日本と連携し、首都圏JR駅等に配置する。

- ### 3 予算額 172,276千円
- (1) 鉄道軌道輸送対策事業 118,507千円
(負担金補助及び交付金)
- (2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 92千円
(積立金)
- (3) 地方鉄道運営費補助事業 50,000千円
(負担金補助及び交付金)
- (4) 第三セクター鉄道利用促進事業 3,677千円
内訳 (・旅費 262千円)
(・負担金補助及び交付金 3,415千円)

【参考】

秋田内陸縦貫鉄道の経営状況について

1 第三四半期までの輸送状況

(1) 輸送人員の状況（4月～12月比較）

(単位：人)

区 分	28年度	29年度	増減	備考
定 期	117,559	100,769	△ 16,790	前年比 85.7%
定 期 外	105,598	111,727	6,129	〃 105.8%
合 計	223,157	212,496	△ 10,661	〃 95.2%

(2) 鉄道収入の状況（4月～12月比較）

(単位：千円)

区 分	28年度	29年度	増減	備考
定 期	29,806	24,946	△ 4,860	前年比 83.7%
定 期 外※	73,133	76,646	3,513	〃 104.8%
合 計	102,939	101,592	△ 1,347	〃 98.7%

※運輸雑収入を含む。

2 平成29年度決算見込み

鉄道収入の減少や除雪費の増加等により、経常損失額は前年度を上回る見込み。

(単位：百万円)

区 分	28年度	29年度	増減	備考	
収 入	鉄 道 収 入	127	125	△ 2	
	定 期	35	30	△ 5	
	定 期 外 ※	92	95	3	団体利用の増
	関 連 事 業 収 入	48	48	0	
	受 託 事 業 収 入	14	16	2	観光アテンダント事業
	営 業 外 収 入	98	104	6	修繕費補助の増
	収 入 合 計 ①	287	293	6	
費 用	人 件 費	213	203	△ 10	
	除 雪 費	13	20	7	降雪の増加に伴う増
	修 繕 費	119	127	8	
	動 力 費	24	29	5	軽油単価上昇による増
	関 連 事 業 原 価	29	28	△ 1	
	受 託 事 業 費	14	15	1	観光アテンダント事業
	そ の 他 経 費 等	68	70	2	
	費 用 合 計 ②	480	492	12	
経常損益 ①－②	△ 193	△ 199	△ 6		

※運輸雑収入を含む。

由利高原鉄道関連予算について

交通政策課

1 目的

鳥海山ろく線の持続的な運行を確保するため、経営の安定及び安全運行のための設備整備等に対して支援するとともに、利用促進に向けた取組を行う。

2 概要

- (1) 鉄道軌道輸送対策事業 23,000千円
鉄道の安全対策に係る設備整備等に対し国と協調して補助する。
・整備内容：通信線埋設、車両検査
・負担割合：国1/3※、県1/3、基金1/3
※ 会社への直接補助
- (2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 28千円
鉄道の維持確保及び経営基盤の安定化を図るため、基金運用益（受取利息）を基金に積み立てる。
- (3) 地方鉄道運営費補助事業 18,000千円
会社運営に必要な費用の一部を補助する。
・負担割合：市は会社に対して平成29年度経常損失額を補助
県は市に対して市負担額の1/4以内かつ18,000千円を上限に補助
- (4) 第三セクター鉄道利用促進事業 1,000千円
県、市、会社、商工会等で構成する「鳥海山ろく線運営促進連絡協議会」へ負担金を支出し、首都圏等での誘客活動を展開する。

- 3 予算額 42,028千円
- (1) 鉄道軌道輸送対策事業 23,000千円
(負担金補助及び交付金)
- (2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 28千円
(積立金)
- (3) 地方鉄道運営費補助事業 18,000千円
(負担金補助及び交付金)
- (4) 第三セクター鉄道利用促進事業 1,000千円
(負担金補助及び交付金)

【参考】

由利高原鉄道の経営状況について

1 第三四半期までの輸送状況

(1) 輸送人員の状況（4月～12月比較）

(単位：人)

区 分	28年度	29年度	増減	備考
定 期	120,996	105,658	△ 15,338	前年比 87.3%
定 期 外	51,804	46,030	△ 5,774	〃 88.9%
合 計	172,800	151,688	△ 21,112	〃 87.8%

(2) 鉄道収入の状況（4月～12月比較）

(単位：千円)

区 分	28年度	29年度	増減	備考
定 期	22,346	19,042	△ 3,304	前年比85.2%
定 期 外※	24,533	19,403	△ 5,130	〃 79.1%
合 計	46,879	38,445	△ 8,434	〃 82.0%

※運輸雑収入を含む。

2 平成29年度決算見込み

鉄道収入の減少や動力費の増加等により、経常損失額は前年度を上回る見込み。

(単位：百万円)

区 分		28年度	29年度	増減	備考
収 入	鉄 道 収 入	58	48	△ 10	
	定 期	27	23	△ 4	
	定 期 外 ※	31	25	△ 6	利用者の減、運輸雑収の減
	関 連 事 業 収 入	22	23	1	手数料の増
	受 託 事 業 収 入	6	0	△ 6	受託事業の減
	営 業 外 収 入	5	5	0	
	収 入 合 計 ①	91	76	△ 15	
費 用	人 件 費	102	103	1	
	除 雪 費	1	1	0	
	修 繕 費	11	6	△ 5	車両修繕費の減
	動 力 費	7	9	2	軽油単価上昇による増
	関 連 事 業 原 価	17	16	△ 1	
	受 託 事 業 費	0	0	0	
	そ の 他 経 費 等	39	40	1	
	費 用 合 計 ②	177	175	△ 2	
経常損益 ①－②	△ 86	△ 99	△ 13		

※運輸雑収入を含む。

秋田犬の里魅力アップ促進事業について
(地方創生推進交付金)

交通政策課

1 目 的

秋田犬の里である本県の魅力アップを図るため、国内外で知名度の高い「秋田犬」を活用した誘客を促進するとともに、県内公共交通機関のイメージアップや利便性の向上を図る。

2 概 要

(1) 秋田犬の里いらっしやいませ事業 **11,850千円**

「秋田犬の里」の空の玄関口である秋田・大館能代両空港圏域の観光情報をWEBサイト等で発信するほか、大館能代空港を利用する旅行商品の造成支援等を行う。

また、海の玄関口である秋田港では、フェリー秋田航路を活用し、県内観光地を巡る旅行商品造成の支援を行い、公共交通機関の観光利用の促進を図る。

- ・秋田犬の里大館能代空港旅行商品造成費等助成事業
- ・秋田空港ダイナミックパッケージ活用事業
- ・秋田港長距離フェリー旅行商品造成費等助成事業

(2) 秋田犬列車整備事業 **26,199千円**

秋田内陸線の車両を秋田犬をイメージした内装や外装（ラッピング等）に改装し、鉄道のイメージアップとインバウンドを含む観光客の利便性の向上を図る。

- ・改装車両：1両
- ・改装内容：ラッピング、座席シート張替、音声ペン設置等
- ・補助率：10/10

3 予算額 **38,049千円**

(1) 秋田犬の里いらっしやいませ事業 **11,850千円**

内 訳	{	・旅 費	800千円
		・役務費	2,050千円
		・負担金補助及び交付金	9,000千円

(2) 秋田犬列車整備事業 **26,199千円**

(負担金補助及び交付金)

文化による地域の元気創出事業について

文化振興課

1 目的

平成27年3月策定の「あきた文化振興ビジョン」に基づき、伝統芸能など地域の文化資源を活用した文化事業を実施するほか、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムとして、特色ある文化事業を展開する文化団体の取組を支援することで、文化の力で秋田の元気創造を図る。

2 概要

(1) あきたアートプロジェクト事業 1,436千円

秋田市中心市街地において、県内の若手作家から美術指導者など、様々なアーティストの優れた作品を集めた展覧会「あきたの美術2018」を開催し、県民に質の高い芸術鑑賞の機会を提供する。

- ・実施期間：平成30年10月3日（水）～10月9日（火）
- ・実施場所：アトリオン「美術展示ホール」

(2) 舞踊・舞踏フェスティバル開催事業 30,000千円

「ダンスの聖地秋田」を国内外に広く発信するため、石井漠、土方巽の流れを汲む舞踊・舞踏家を各地から招へいし、「石井漠・土方巽記念国際ダンスフェスティバル」を開催するほか、県内各地でのアウトリーチ公演（出張公演）等を開催する。

- ・実施期間：平成30年7月～11月
- ・実施場所：秋田市文化会館ほか
- ・実施主体：石井漠・土方巽記念国際ダンスフェスティバル実行委員会
- ・事業費：40,000千円
- ・負担内訳：県5,000千円、国20,000千円、秋田市5,000千円、（一財）地域創造5,000千円、協賛金等5,000千円

(3) 文化による地域の元気創出事業補助金 29,142千円

国民文化祭の成果を継承し、県内芸術文化活動の活発化や地域の活性化等を図るため、県内の文化団体等が行う交流人口の拡大に資する取組や、芸術性に富んだ特色ある取組に対し、開催経費を助成する。

- ・補助対象者：文化団体等
- ・補助率：1/2、2/3
- ・補助金額：400～5,000千円

(4) 県・市連携による地域文化発信事業 30,064千円

本県には4つのユネスコ無形文化遺産に代表される多くの伝統文化が残っているが、これらが一堂に会し、国内外に情報発信するため、仙北市と共同で「新・秋田の行事」を開催する。

- ・実施期間：平成30年10月6日（土）～10月7日（日）
- ・実施場所：仙北市
- ・実施主体：新・秋田の行事实行委員会
- ・事業費：37,000千円

- ・負担内訳：県8,500千円、国18,500千円、仙北市5,000千円、協賛金等5,000千円

(5) 東京キャラバン開催事業【新規】 15,000千円

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、本県文化の素晴らしさを国内外に広くアピールするため、開催地の東京都と連携し、野田秀樹氏の監修のもと、本県の文化資源を現代的にアレンジした大型イベント「東京キャラバン」を開催する。

- ・実施期間：平成30年度内
- ・実施場所：秋田県内
- ・実施主体：東京キャラバン実行委員会（仮称）
- ・事業費：15,000千円
- ・負担内訳：県7,500千円、国7,500千円

3 予算額 105,642千円

(1) あきたアートプロジェクト事業 1,436千円

内 訳	〔		〕
・報償費		640千円	
・旅費		19千円	
・需用費		220千円	
・委託料		350千円	
・使用料及び賃借料		207千円	

(2) 舞踊・舞踏フェスティバル開催事業 30,000千円
(負担金補助及び交付金)

(3) 文化による地域の元気創出事業補助金 29,142千円

内 訳	〔		〕
・報償費		35千円	
・旅費		57千円	
・需用費		50千円	
・負担金補助及び交付金		29,000千円	

(4) 県・市連携による地域文化発信事業 30,064千円

内 訳	〔		〕
・共済費		262千円	
・賃金		1,679千円	
・旅費		176千円	
・需用費		574千円	
・役務費		268千円	
・使用料及び賃借料		67千円	
・負担金補助及び交付金		27,000千円	
・公課費		38千円	

(5) 東京キャラバン開催事業 15,000千円
(負担金補助及び交付金)

県・市連携文化施設整備事業について

文化振興課

1 目的

平成33年度の供用に向け、実施設計及び運営管理計画の策定を行うほか、現県民会館の解体等を行う。

2 概要

(1) 継続費分 1,706,144千円

【総額1,706,144千円（うち県1,472,601千円、市233,543千円）】

平成29年度12月補正予算で継続費を設定した実施設計費、県民会館の解体工事費、埋蔵文化財調査費、和洋高校建物移転補償費等に係る平成30年度実施分。

(2) 単年度計上分

① 運営管理計画関連業務 13,247千円

【総額13,247千円（うち県7,618千円、市5,629千円）】

実施設計及び運営管理計画の策定にあたり、専門性が高いホールの整備や運営に関し、専門家からコンサルティングを受けるほか、有識者等で構成される検討委員会や利用者代表等で構成されるワークショップを開催する。

【運営管理計画の主な内容】

- ・基本方針
- ・事業計画（施設が主催する事業の考え方等）
- ・運営組織計画（組織体制、県民参加、評価等）
- ・施設管理計画（利用規則、利用料金等）
- ・広報広聴計画
- ・収支計画

② 整備事務費 4,047千円

【総額4,047千円（うち県2,328千円、市1,719千円）】

3 予算額 1,723,438千円

(1) 継続費分 1,706,144千円

(2) 単年度計上分 17,294千円

① 運営管理計画関連業務 13,247千円

内 訳	・ 報償費	180千円
	・ 旅 費	170千円
	・ 需用費	24千円
	・ 委託料	12,852千円
	・ 使用料及び賃借料	21千円

② 整備事務費

4,047千円

内 訳	・旅 費	1,417千円
	・需用費	2,186千円
	・役務費	300千円
	・使用料及び賃借料	144千円

4 県・秋田市の費用負担

(1) 継続費分

(単位：千円)

業 務 名	総 額	うち県分	うち秋田市分
(1) 実施設計費	235,762	135,564	100,198
(2) 周辺建物事前調査費	6,652	3,825	2,827
(3) 埋蔵文化財調査費	302,516	173,947	128,569
(4) 建築確認等手数料	4,588	2,639	1,949
(5) 和洋高校移転補償費	1,003,150	576,812	426,338
(6) 県民会館解体工事費	573,154	573,154	—
(7) 県民会館解体工事設計監理費	6,660	6,660	—
合 計	2,132,482	1,472,601	659,881

※ 太枠が県の歳出予算計上額（1,706,144千円）

(2) 単年度計上分

(単位：千円)

業 務 名	総 額	うち県分	うち秋田市分
(1) 実施設計・運営管理計画策定支援業務委託	12,852	7,390	5,462
(2) 運営管理計画検討委員会開催費	356	205	151
(3) 運営管理ワークショップ運営費	39	23	16
(4) 整備事務費	4,047	2,328	1,719
合 計	17,294	9,946	7,348

※ 太枠が県の歳出予算計上額（17,294千円）

5 基本設計の概要について

1月下旬で基本設計が完成し、現在引き続き実施設計を進めている。

→ 別冊参照

新時代の地域密着型芸術文化活動促進事業について【新規】

文化振興課

1 目的

県民会館が閉館する平成30年5月末から新文化施設が開館する平成33年度までの間も、芸術文化活動が活発に行われるよう、県内各地の施設等を活用しながら文化団体の発表の場や県民の鑑賞機会の確保に取り組む。

2 概要

(1) 県民会館閉館中助成事業 3,000千円

県内文化団体等がこれまで県民会館を会場に開催してきた事業について、5月末の閉館に伴い、秋田市以外の文化施設等で開催する場合、掛かり増しになる経費の一部を助成する。

- ・補助対象者：文化団体等
- ・補助対象経費：主催者等の移動に係る経費（審査委員旅費、コンクール補助員バス代等）、会場周知のためのポスター、チラシ等の印刷経費等
- ・限度額：1事業あたり10万円

(2) 音楽活性化事業 2,157千円

県民が身近な場所で一流の音楽を鑑賞する機会を拡充するため、希望する市町村と連携し、アウトリーチ（出張コンサート）等を開催する。

① 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム 309千円

市町村担当者等がアウトリーチ手法などを学ぶ研修会を開催する。

- ・実施時期：平成30年6月7日（木）
- ・実施場所：アトリオン「ミニコンサートホール」
- ・実施内容：市町村担当者、ホール担当者、教育関係者向けのアウトリーチ研修

② 地域の文化・芸術活動助成事業（連携プログラム） 1,848千円

県と各市が連携し、小中学校のアウトリーチ公演を行う。

- ・実施期間：平成30年11月～平成31年3月
- ・実施場所：秋田市、鹿角市、由利本荘市、湯沢市
- ・実施内容：仙台フィルハーモニー管弦楽団によるアウトリーチ公演

(3) 芸術文化プログラム開催事業 10,000千円

県民会館閉館中も、より多くの県民が芸術文化に触れられる機会を提供するため、県立体育館を会場に大規模なイベントやコンサートを開催する。

- ・実施期間：平成30年12月1日（土）～12月2日（日）
- ・場所：県立体育館
- ・内容：吹奏楽、舞踊、伝統芸能のステージや秋田県大使のトークショー等

(4) ありがとう県民会館ラストコンサート開催事業 4,000千円

県民会館閉館前の最終日曜日に、県民会館へ感謝を込めて本県文化の若い担い手や県に縁のあるアーティスト等が出演するラストコンサートを開催する。

- ・実施時期：平成30年5月27日（日）
- ・実施場所：秋田県民会館
- ・実施主体：(一社)秋田県芸術文化協会ほか
- ・実施内容：県民会館のあゆみ上映、県内小中学校・高校の記念演奏、県に縁のあるアーティストによるコンサート、来場者全員による県民歌合唱等

3 予算額 19,157千円

(1) 県民会館閉館中助成事業 3,000千円
(負担金補助及び交付金)

(2) 音楽活性化事業 2,157千円

内 訳	・ 報償費	1,350千円
	・ 旅 費	635千円
	・ 需用費	30千円
	・ 役務費	60千円
	・ 使用料及び賃借料	82千円

(3) 芸術文化プログラム開催事業 10,000千円
(委託料)

(4) ありがとう県民会館ラストコンサート開催事業 4,000千円
(負担金補助及び交付金)

スポーツ王国創成事業について

スポーツ振興課

1 目的

「スポーツ立県あきた」を推進するため、各競技団体の選手強化対策を支援するとともに、ジュニア期からの一貫指導体制の確立を推進するほか、トップアスリートの県内就職を促進することにより、本県スポーツの競技力向上を図る。

2 概要

- (1) スポーツ王国づくり強化事業 220,391千円
- ① 選手強化対策等への支援 110,000千円
競技団体が実施する選手強化対策に対して補助する。
・補助対象者：県内41競技団体（うち重点強化17競技団体）
- ② スポーツ医科学サポート 19,831千円
選手に対する医科学サポートを県スポーツ科学センターにおいて実施する。
- ③ 競技力向上対策の実施 90,560千円
選手の育成・強化のための諸施策や競技団体への指導など、県体育協会と連携した競技力向上対策等を実施する。
・委託及び補助先（予定）：（公財）秋田県体育協会
- (2) アスリート輩出のためのタレント発掘事業 10,093千円
- ① AKITAスーパーわか杉っ子発掘プロジェクト 7,330千円
ジュニア期から優れた素質を有する選手の発掘・育成・強化を実施する。
・対象競技：フェンシング、スピードスケート、ライフル射撃
- ② 秋田県タレント発掘合同トライアル 2,763千円
中学生を対象に測定会を実施し、自分に合った競技種目を選択する際の判断材料を提供する。
- (3) ジュニアアスリート強化事業 63,690千円
- ① ジュニア期からの一貫指導体制の構築 27,690千円
県体育協会へのジュニア育成アドバイザーの配置（2名）や、各競技団体が実施するジュニア強化事業に対する補助（34競技団体）のほか、中学生強化選手に対する高等学校強化拠点校と連携した強化練習や研修を実施する。
- ② 高等学校強化拠点校への支援 36,000千円
高等学校強化拠点校が実施する強化練習・合宿や、競技団体と連携した合同練習などに対して補助する。
・高等学校強化拠点校：15競技延べ20校（予定）
- (4) アスリートの競技活動サポート事業（地方創生推進交付金） 30,644千円
県内に就職し競技を続ける意志のあるアスリートと、企業等とのマッチングサポートを実施するとともに、トップアスリートを雇用した企業等に対して、奨励金を支給するほか、競技活動に要する経費の一部を補助する。
- ① アスリートと企業等のマッチングサポート 6,244千円
・実施内容：無料職業紹介事業所及び就職推進アドバイザーの設置（1名）
アスリート就職説明会の開催など
・委託先（予定）：（公財）秋田県体育協会

- ② 秋田県トップアスリート正規雇用奨励金 10,000千円
 ・支給額：200万円/人（新規採用予定：5人）
- ③ 秋田県トップアスリート競技活動サポート補助金 14,400千円
 ・企業等が負担するトップアスリートの競技活動経費への補助
 ・補助金額：240万円/年（平成29年度：1人、平成30年度：5人）

- (5) スポーツ国際交流員招致事業 8,196千円
 （語学指導等を行う外国青年招致事業「JETプログラム」対象事業）
 スポーツ国際交流員（SEA）を招致し、専門的な競技指導を行うとともに、スポーツを通じた国際交流を図る。

3 予算額 333,014千円

(1) スポーツ王国づくり強化事業 220,391千円

内 訳	・報酬	5,672千円
	・共済費	908千円
	・報償費	3,720千円
	・旅費	4,461千円
	・需用費	718千円
	・役務費	1,231千円
	・委託料	86,260千円
	・使用料及び賃借料	2,602千円
	・備品購入費	519千円
	・負担金補助及び交付金	114,300千円

(2) アスリート輩出のためのタレント発掘事業 10,093千円

内 訳	・報償費	528千円
	・旅費	5,408千円
	・需用費	200千円
	・役務費	441千円
	・委託料	3,263千円
	・使用料及び賃借料	20千円
	・負担金補助及び交付金	233千円

(3) ジュニアアスリート強化事業 63,690千円

内 訳	・委託料	10,210千円
	・負担金補助及び交付金	53,480千円

(4) アスリートの競技活動サポート事業 30,644千円

内 訳	・報償費	10,000千円
	・委託料	6,244千円
	・負担金補助及び交付金	14,400千円

(5) スポーツ国際交流員招致事業 8,196千円

内 訳	・報酬	5,768千円
	・共済費	922千円
	・旅費	1,369千円
	・役務費	15千円
	・負担金補助及び交付金	122千円

県有体育施設整備・改修事業について

スポーツ振興課

1 目的

県有体育施設について、利用者の安全・安心を確保するとともに、各種競技大会の開催に支障がないよう施設設備の整備・改修を実施する。

2 概要

- | | |
|--|----------|
| (1) 県有体育施設整備・改修事業 | 92,749千円 |
| ① 総合プール 井戸掘削工事 | 20,090千円 |
| 現在使用している井戸の揚水量の低下、水質の悪化、砂の混入量が増えてきていることから、バックアップ用井戸を新設する。 | |
| ② スケート場 井戸掘削工事 | 34,090千円 |
| 既存井戸は経年劣化により使用できない状況にあり、武道館の井戸水をスケート場に送水して対応しているが、1つの井戸で2施設分賄うと水質悪化及び井戸枯れが懸念されるため、スケート場専用の井戸を新設する。 | |
| ③ 大館樹海ドーム 発電設備点検業務委託 | 14,600千円 |
| 発電機のエンジン駆動時間がメーカーからの点検指定時間（6,000時間）を超えたため、分解点検と劣化部品を交換するとともに、稼働後20年を経過した発電機制御盤の部品を交換する。 | |
| ④ アリナス 自家発電用蓄電池交換 | 1,600千円 |
| 使用有効期限（11年）を4年経過した非常灯用・自家発電用蓄電池を交換する。 | |
| ⑤ 県立武道館 雨水排水管高圧洗浄業務委託 | 800千円 |
| 汚泥や枯葉が堆積し排水機能が低下している雨水排水設備を清掃する。 | |
| ⑥ 総合プール 排気ファン交換修繕 | 1,500千円 |
| 排気ファンが劣化し異音が出ているほか、吸引機能が低下しトイレのにおいが残る不具合が生じているため、修繕する。 | |
| ⑦ 県立武道館 主・副電気トランス絶縁油交換業務委託 | 2,060千円 |
| 当該絶縁油は設置後15年目となり、東北電気保安協会で定める交換推奨時期を5年超過しており、継続して使用した場合、変圧器の故障につながるため、交換する。 | |
| ⑧ 田沢湖スポーツセンター 浴槽内壁改修工事 | 8,494千円 |
| 浴室の内壁等が硫黄成分及びカビ等により劣化しているため、張り替える。 | |
| ⑨ 県有体育施設備品整備 | 5,479千円 |
| 県立野球場の天然芝用のライン引き器及び県立体育館の公式試合用のバドミントンマットを整備する。 | |

⑩ 県有体育施設備品更新 4, 036千円
 経年劣化及び耐用年数を経過した備品を更新する。(県立体育館バドミントン支柱・卓球台、スポーツ科学センターエアロバイク、田沢湖スポーツセンター芝刈機)

(2) 県有体育施設基幹設備改修事業 72, 258千円

① 総合射撃場 ライフル射撃場側壁改修工事 28, 294千円

ライフル射撃場の側壁等は、経年劣化により壁の表層木材が腐食し剥がれ、下地の鉄骨が露出しており、現状のままでは安全性が確保できないことから、公認指定取り消しとなる可能性があるため、改修する。

② 樹海ドーム アリーナ照明設備修繕 25, 165千円

球切れした水銀灯105灯と劣化により騒音が発生している安定器を交換する。

③ 樹海ドーム ボイラー水管群修繕 10, 411千円

経年劣化しているボイラー内部の水管群を修繕する。

④ スケート場 汚水管浄化槽交換工事 8, 388千円

汚水管自体の劣化や地盤沈下の影響により、汚水の逆流や詰まりが発生しており、汚水処理に支障が出ているため、交換する。

(3) 県有体育施設大規模改修事業【新規】 351, 154千円

・スケート場 冷凍機改修工事

スケート場の冷凍機は、現在、既存機6台のうち2台が経年劣化により使用不能(平成29年10月から)となっており、また、使用しているフロンが平成32年で製造中止となることから、平成31年シーズンまでに全て新冷凍機に入れ替える。これに向けて、平成30年度は改修のための設計、新冷凍機の製作のほか、平成30年のシーズンには、暫定的に冷凍機を借り上げて対応する。

3 予算額 516, 161千円

(1) 県有体育施設整備・改修事業 92, 749千円

内 訳 (・需用費 17, 700千円)
 (・委託料 6, 538千円)
 (・工事請負費 58, 996千円)
 (・備品購入費 9, 515千円)

(2) 県有体育施設基幹設備改修事業 72, 258千円

内 訳 (・需用費 10, 411千円)
 (・委託料 2, 482千円)
 (・工事請負費 59, 365千円)

(3) 県有体育施設大規模改修事業 351, 154千円

内 訳 (・委託料 7, 390千円)
 (・使用料及び賃借料 12, 798千円)
 (・工事請負費 330, 966千円)

県有体育施設大規模改修事業スケート場冷凍機改修事業に係る
債務負担行為の設定について

スポーツ振興課

1 目的

スケート場の冷凍機は、現在、既存機6台のうち2台が経年劣化により使用不能(平成29年10月から)となっており、また、使用しているフロンが平成32年で製造中止となることから、新たな冷凍機を設置する。

冷凍機設置には、2年の期間が必要であり、平成30年度に改修のための設計及び新たに設置する冷凍機を製作することとし、平成31年度に入れ替え工事をするための債務負担行為限度額を設定する。

2 概要

(1) 整備の概要

- ・実施内容：冷凍機の製作設置、既存冷凍機の撤去、既存配管への借用冷凍機接続工事等
- ・実施期間：平成30年4月～平成31年8月
- ・総事業費：520,311千円

(単位:千円)

スケート場冷凍機改修事業	H30年度 (当初予算額)	H31年度 (債務負担行為 限度額)	総事業費
設計・監理業務委託	7,390	1,233	8,623
機器製作・現場設置工事	306,666	167,924	474,590
借用冷凍機設置工事	24,300		24,300
冷凍機借用料	12,798		12,798
事業費計	351,154	169,157	520,311

(2) スケジュール

スケート場 冷凍機改修事業	平成30年度(当初)												平成31年度(債務負担)					製 氷 時 期
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
設計・監理業務委託	公告	実施設計			審査	設計監理(完成物引渡の日まで)						設計監理						
機器製作・現場設置工事						公告	図面作成	機器製作		検査	既存機撤去	設置工事	検査					
借用冷凍機設置工事		契約	現場設置工事				撤去											
冷凍機借用料							借用											

 H31債務負担行為設定

3 債務負担行為限度額

169,157千円

- 内 訳
- ・委託料 1,233千円
 - ・工事請負費 167,924千円

2020ホストタウン推進事業について【新規】

スポーツ振興課

1 目的

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、県とともにホストタウンとなっている関係市町村との連携のもと、海外代表チームの合宿受入等のスポーツ交流事業を実施し、競技力の向上等によるスポーツ振興のほか、国際交流の促進、交流人口の拡大など、ホストタウン交流活動の推進による地域の活性化を図る。

2 概要

(1) 対象市町村

- ① 美郷町（タイ・バドミントン） 5,334千円
マスターズ大会（秋田市・平成30年7月）、ジャパンオープン（東京都・平成30年9月）に出場するタイ代表チームの合宿受入を美郷町とともに実施する。
- ② 大潟村（デンマーク・ボート） 4,418千円
デンマーク代表チーム関係者の視察招へい、県内高校生ボート選手のデンマーク派遣を大潟村とともに実施する。
- ③ 秋田市（フィジー・ラグビー） 5,000千円
フィジーの中学生チームを招へいし、県内中学生チームとのスポーツ交流等を秋田市とともに実施する。
- ④ 横手市（インドネシア・バドミントン） 4,667千円
マスターズ大会（秋田市・平成30年7月）に出場するインドネシア代表チームの合宿受入、ジュニアチームの招へいを横手市とともに実施する。
- ⑤ 関連事務費 912千円

(2) 負担割合 2/3以内（上限は1交流事業あたり5,000千円）

3 予算額

20,331千円

内訳	
・旅費	702千円
・需用費	120千円
・役務費	36千円
・委託料	19,419千円
・使用料及び賃借料	54千円

【参考】県内のホストタウン

- 県・美郷町（タイ・バドミントン）
- 県・横手市（インドネシア・バドミントン）
- 県・大館市（タイ・バレーボール、車いす卓球）
- 県・秋田市（フィジー・ラグビー）
- 県・仙北市（タイ・カヌー）
- 県・大潟村（デンマーク・ボート）
- 鹿角市（ハンガリー・テニス、バスケットボール）
- ※ 継続審査 県・秋田市（マレーシア・バドミントン）

バドミントンマスターズ大会開催支援事業について【新規】

スポーツ振興課

1 目的

平成30年度から4年間、秋田県での開催が決定しているバドミントンマスターズ大会の開催を支援し、バドミントン競技の普及、競技力の向上を図るとともに、大規模国際スポーツ大会の誘致による交流人口の拡大、地域の活性化を促進する。

2 概要

バドミントンマスターズ大会の開催を支援する。

- ・大会名称：ジャパンマスターズ2018（仮称）
- ・日程：平成30年7月24日（火）～29日（日）
- ・会場：CNAアリーナ秋田（秋田市）
- ・主催：（公財）日本バドミントン協会（世界バドミントン連盟公認）
- ・主管：秋田県バドミントン協会
- ・種目：男子シングルス（64人）、男子ダブルス（32組）
女子シングルス（64人）、女子ダブルス（32組）
混合ダブルス（32組）
- ・参加：約30カ国から320人
- ・開催経費：99,000千円
- ・負担内訳：県40,000千円、秋田市20,000千円
協賛金等39,000千円

【参考】バドミントンマスターズ大会

- ・国内で開催される国際大会としては、「ジャパンオープン（東京）」に次ぐグレードの大会となる。他には、下のカテゴリーに属する「大阪インターナショナルチャレンジ」がある。
- ・世界ランキング64位以内の選手が出場する。

3 予算額

40,722千円

内 訳	・ 旅 費	409千円
	・ 需用費	120千円
	・ 役務費	175千円
	・ 使用料及び賃借料	18千円
	・ 負担金補助及び交付金	40,000千円

新スタジアム整備構想策定事業負担金について【新規】

スポーツ振興課

1 目的

これまでスタジアム整備のあり方検討委員会で議論を重ね、先般、委員会としての考え方が示されたことから、今後設置される新たな協議の場において、より具体的な内容を検討し、新スタジアム整備に向けた調査・研究を行うための経費を負担する。

2 概要

(1)「新スタジアム整備構想策定協議会（仮称）」の設置

ホームタウンである県と4市（秋田市、男鹿市、由利本荘市、にかほ市）及び秋田商工会議所の6者で「新スタジアム整備構想策定協議会（仮称）」を設置し、年度内に報告書をまとめる。

なお、事務局は秋田商工会議所内に置く。

(2) 専門部会の設置

サッカーやラグビー等の関係団体、体育協会、学識経験者、民間団体及び行政建築関係等の委員による専門部会を設置し、専門のコンサルタントに調査委託等を行い、協議会の議論をより具体的に掘り下げる。

(3) 協議事項

- ・ 複数の整備プランの検討に関する事
- ・ 建設主体に関する事
- ・ 建設場所に関する事
- ・ 財源に関する事
- ・ 運営主体、運営手法に関する事
- ・ 機能・規模、概算事業費に関する事 など

(4) スケジュール（予定）

平成30年4月	整備構想策定協議会（仮称）の設置
平成30年5月	専門部会の設置
平成30年5月～平成31年2月	専門部会による協議・調査
平成30年7月～平成31年1月	コンサルタント調査
平成30年9月	協議会開催、議会報告（中間）
平成31年2月	協議会開催、議会報告

3 予算額

5,000千円
(負担金補助及び交付金)

【参考】

全体事業費	10,000千円
(内 訳)	
秋田県	5,000千円
県以外のホームタウン	5,000千円

(秋田市3,500千円、男鹿市500千円、由利本荘市500千円、にかほ市500千円)